

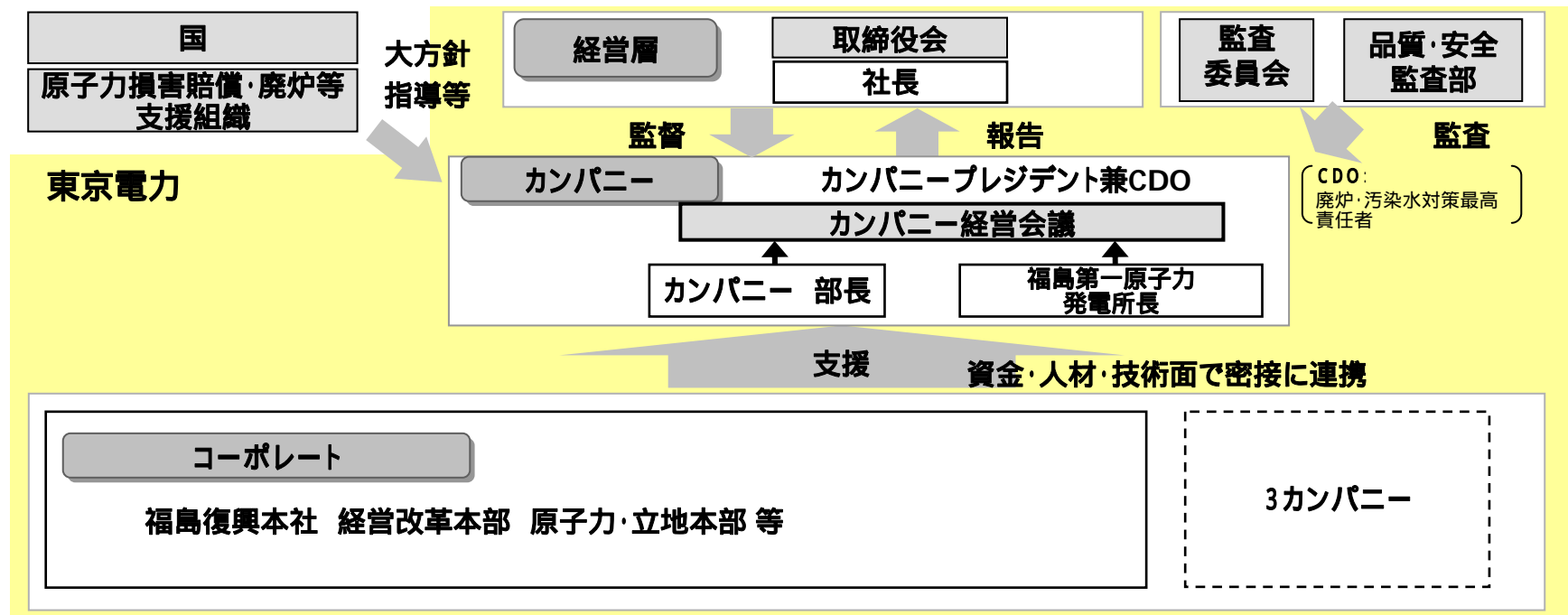
廃炉・汚染水対策の方針について ～ 福島第一廃炉推進カンパニー～

平成26年3月25日
東京電力株式会社

1. 福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策に関して、責任体制を明確化し、集中して取り組むことを目的として、
「福島第一廃炉推進カンパニー」を4月1日に設置

新組織の運営体制



2. 福島第一廃炉推進カンパニーの位置付け

設立の趣旨

- 廃炉・汚染水対策の責任と権限の明確化
- 意思決定の迅速化
- 知見・人材の積極的活用

責任の所在

- 包括的責任「廃炉・汚染水対策最高責任者」(CDO : Chief Decommissioning Officer)
- 最高意思決定機関「カンパニー経営会議」

VP (Vice President)

- メーカー3社の原子力統括責任者に準ずる人材を招へい
= オールジャパンのプロ集団
- 海外知見の活用

プロジェクトマネジメント体制の強化

- 従来の設備単位の管理にプロジェクト毎の管理を組み合わせ、きめ細やかな体制で着実に業務遂行

3. VP (Vice President) の任命

社外登用者：メーカー原子力部門統括責任者クラス3名



ありま ひろし

有馬 博 氏 (55歳) 日立GEニュークリア・エナジー株式会社

- ✓ 一貫して福島第一原子力発電所のトラブル対応・保全業務に従事
- ✓ 汚染水対策プロジェクト等や、主に1号機 / 4号機全般について指導、監督。



たかやま たくじ

高山 拓治 氏 (55歳) 株式会社東芝

- ✓ 25年に亘り福島第一原子力発電所関連業務を経験
- ✓ プール燃料取り出し・構内除染のインフラ整備のプロジェクト等や、主に2 / 3号機全般について指導、監督。



すずき しげみつ

鈴木 成光 氏 (59歳) 三菱重工業株式会社

- ✓ 原子燃料・廃棄物の専門家
- ✓ 冷却・PCV調査・デブリ取り出し、廃棄物対策のプロジェクト等や、主にプラント横断施設について指導、監督。

社内登用者：能力と実績から選抜した3名

おの あきら

- **小野 明 (54歳)** 福島第一原子力発電所長...福島第一原子力発電所長として現場作業を指揮

まつもと じゅん

- **松本 純 (54歳)** 原子力・立地本部廃炉担当...国との調整、プロジェクトの管理を実施

かわい まさひこ

- **河合 雅彦 (54歳)** 原子力・立地本部 (日本原燃株式会社出向)

...事務系の異なる視点からプレジデントの経営判断をサポート

4. VP (Vice President)の役割・期待事項

社外登用者

- 原子力関係の経験が豊富で、リーダーシップを発揮し、現場を牽引する
- 責任者の一員として、豊富な経験に基づく社員の指導、メーカーの技術と知見を収集・共有する
- 各VPの担当範囲を明確化し、プラント毎の担当を決めることで、クロスチェックを導入する

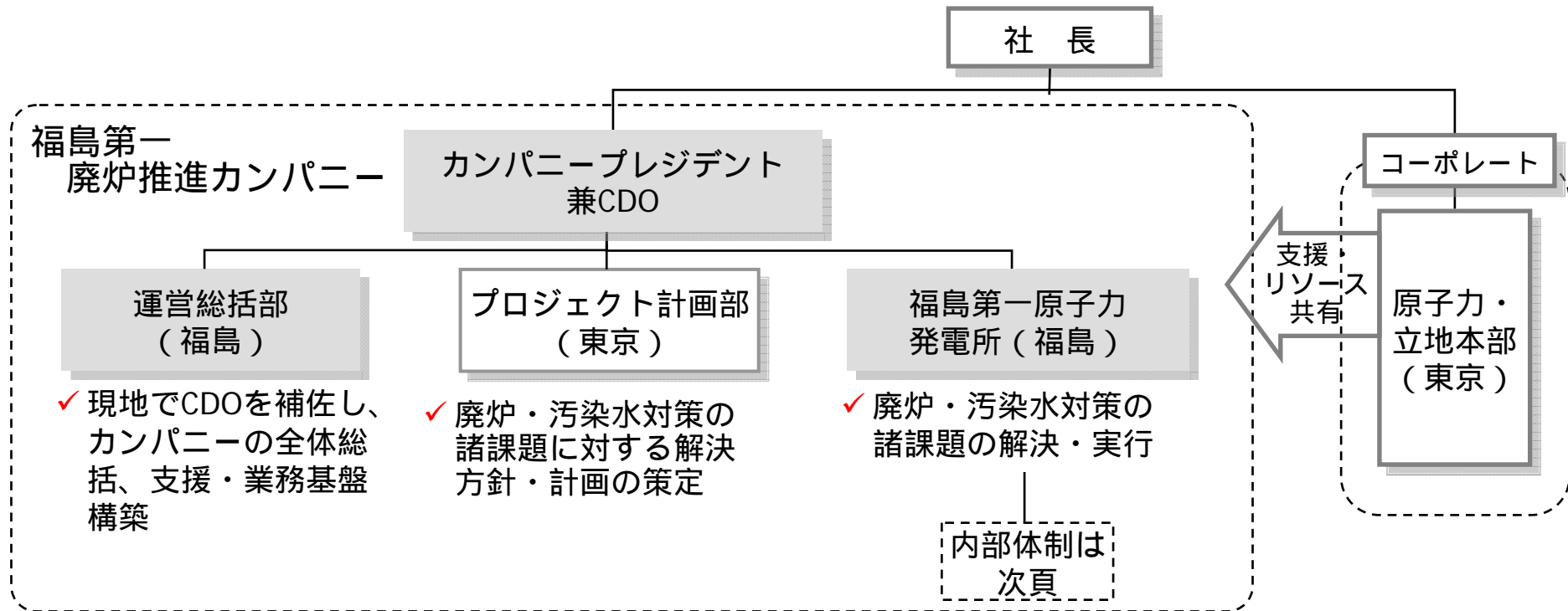
社内登用者

- 引き続き廃炉・汚染水対策を牽引するとともに、現場の統括、国等との調整、プレジデントのサポートを明確に分担する

社外・社内登用者共通

- CDOの両腕としてリーダーシップを発揮し、作業員の皆さまが働きがいを持って、明るく、意欲的に仕事ができる環境を整備する

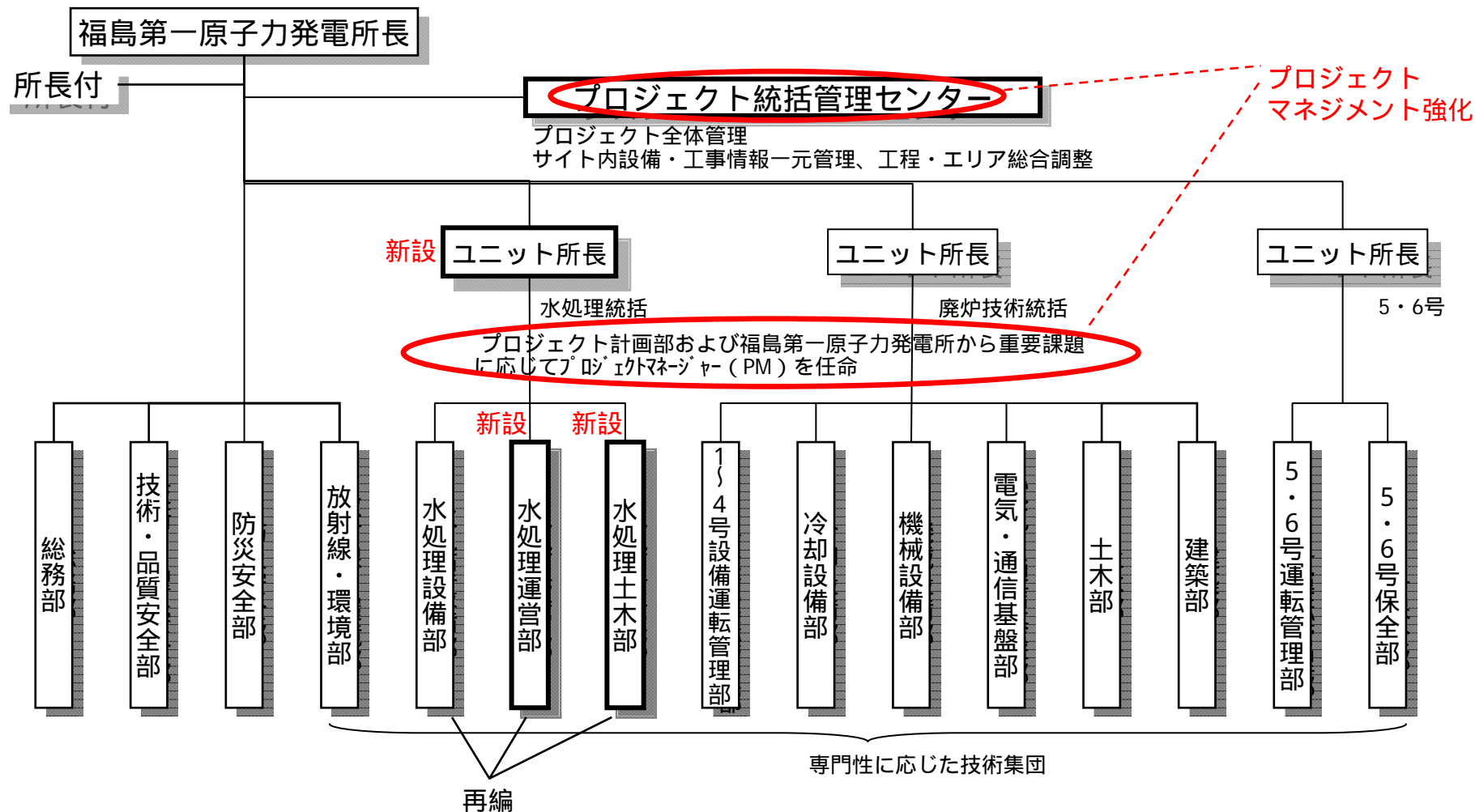
5. 組織体制



- ✓ 「福島第一安定化センター」は運営総括部と福島第一に分割統合
- ✓ 「福島第一信頼度向上緊急対策本部」および「汚染水・タンク対策本部」は発展的解消。プロジェクト内容を見直し後、今回強化するプロジェクト体制で継承

6. 福島第一原子力発電所の組織体制

- 現場における設備・工事情報を一元管理し、プロジェクト全体管理、工程、エリア総合調整を行うプロジェクト統括管理センターを設置。
- 現場の最重要課題である、汚染水処理に集中するユニット所長を設置し、汚染水処理の迅速化・強化を図る。



7. プロジェクトマネジメント強化

- 廃炉作業の多種多様な課題に柔軟に対応するため、

プロジェクトマネジメントを強化

概要

■ 計画内容

- ・ 国、規制当局、現場での検討課題や地元自治体等の要望を踏まえたものとする

■ 設置・変更・廃止

- ・ カンパニー経営会議にて随時決定

■ プロジェクトマネージャー

- ・ 部門横断的なプロジェクトによる業務遂行体制を有効に機能させるため、設備単位で管理するGM等とは別に、プロジェクトの目的を達成するよう工程、リスク、予算を管理・調整し、責任を持ってプロジェクトを推進する者をCDOが任命

■ プロジェクト定義書

- ・ 各プロジェクトの責任及び責任範囲が曖昧にならないようプロジェクトの目的・目標、成果の仕様等をカンパニー経営層が定義書にて示す

具体的なプロジェクトの内容等については、取りまとめて後日お知らせ